

自動車 NO_x・PM 法に基づく
自動車使用管理計画・実績報告
作成の手引き（平成 28～32 年度用）

1 自動車使用管理計画・実績報告について.....	1
(1) 制度の概要.....	1
(2) 自動車使用管理計画（平成 28～32 年度）について.....	2
(3) 自動車使用管理実績報告について.....	3
2 自動車使用管理計画の立て方について.....	5
3 作成の手順.....	6
(1) 「自動車使用管理計画・実績報告作成ソフト」の構成	6
(2) 自動車使用管理計画の記入方法.....	7
様式 1-1（計画表紙）.....	7
様式 1-2（計画排出量）.....	8
様式 1-3（計画措置）.....	11
様式 1-4（計画代替）.....	12
様式 1-5（計画事業場）.....	14
(3) 自動車使用管理実績報告の記入方法.....	15
様式 2-1（実績表紙）.....	15
様式 2-2（実績排出量）.....	16
様式 2-3（実績措置）.....	17
様式 2-4（実績代替）.....	18
様式 2-5（実績事業場）.....	20

平成28年4月
兵庫県 水大気課

1 自動車使用管理計画・実績報告について

(1) 制度の概要

「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」(自動車 NOx・PM 法)により、兵庫県の対策地域(※1)に使用の本拠の位置を有する対象自動車(※2)を 30 台以上使用する事業者(※3)(「**特定事業者**」といいます)は、事業活動に伴い自動車から排出される窒素酸化物(NOx)及び粒子状物質(PM)を抑制するため、5年ごとに「自動車使用管理計画」を作成し、毎年、その実績を翌年度の6月末までに兵庫県知事へ報告(「自動車使用管理実績報告」)することが義務付けられています。

※1 対策地域

兵庫県11市2町

(神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、高砂市、川西市、加古郡播磨町及び揖保郡太子町)

※2 対象自動車

乗用自動車、貨物自動車、バス、特種自動車

(軽自動車、特殊自動車、自動二輪自動車を除く)

なお、特定事業者が使用する対象自動車を「**特定自動車**」といいます。

— 注意 —

- 販売目的の車両を除きます。
新車や中古車販売など、販売を目的として数か月だけ展示している車や、販売に先立って顧客に試乗させるために数か月間、車検登録していたような車両は、法の趣旨に馴染まないため計画の対象外とします。
- 車検証の「使用者の氏名又は名称」欄に事業者名が記載されていれば、リース車両であっても対象となります。
- 車検証の「使用の本拠の位置」欄が兵庫県の対策地域であれば、実際の走行場所が兵庫県外であっても対象となります。

※3 自動車運送事業者等は、国土交通省の定める様式で近畿運輸局に提出となります。

(2) 自動車使用管理計画(平成 28～32 年度)について

➤ 提出様式

「自動車使用管理計画・実績報告作成ソフト」(エクセルファイル)を以下からダウンロードしてください。

「ひょうごの環境」HP の「ホーム」>「大気」>「自動車 NO_x・PM 法について」

(<http://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/>)

※作成ソフトは「30 事業場 500 台」用と「150 事業場 3,000 台」用がありますので、事業場数と車両台数について事業者の現状にあわせて選択してください。

※それ以上の事業場数や車両数の場合は、お手数ですが兵庫県までご連絡ください。

➤ 提出ファイル名 “事業者番号”(半角)＋“社名略称”(5 文字以内)＋“計画年度”＋“計画”

(例)平成 28 年度に計画書を提出する場合 「651〇〇H28 計画.xls」

※英数字は半角で表記してください。

※新たに特定事業者となられた場合は、事業者番号は不要です。

➤ 作成

3 作成の手順 (2) 自動車使用管理計画の記入方法 にしたがって、作成ソフトの様式 1-1～1-5(計画シート)に入力して作成してください(水色のセル部分が必須入力項目)。

※実績シートの削除を行わないでください。

➤ 提出期限

・既に計画を策定されている特定事業者の場合

計画期間満了日から三月以内

・新たに特定事業者となった場合

特定事業者に該当することとなった日から三月以内

➤ 提出方法

(1)(2)のいずれかの方法により、提出先まで提出してください。

(1) E-mail 送信により電子ファイルで提出(7MB まで)

(2) 郵送により電子媒体(CD または DVD)で提出

※紙ベースでの提出は不要です。ただし、受付の証が必要な場合は、82 円切手を貼った返信用封筒と様式 1-1(計画表紙)のみ紙ベースで送付ください。兵庫県水大気課の受付印を押印し、返送します。

(3) 自動車使用管理実績報告について

➤ 提出様式

① 計画提出年度の実績を翌年度に報告する場合

提出した計画書ファイルをコピーしたファイルを用意し、次の提出ファイル名を付けます。

② ①以降に、前年度実績を報告する場合

前年度に提出した実績報告書ファイルをコピーしたファイルを用意し、次の提出ファイル名を付けます。 ※様式 2-2 において前回実績の値は消去してください。

➤ 提出ファイル名 “事業者番号”(半角)＋“社名略称”(5 文字以内)＋“実績年度”＋“実績”

(例)平成 28 年度実績を平成 29 年度に報告する場合 「651〇〇H28 実績.xls」

➤ 作成

3 作成の手順 (3) 自動車使用管理実績報告の記入方法 にしたがって、様式 2-1～2-5(実績シート)に入力して作成してください(水色のセル部分が必須入力項目)。

※計画シートの削除を行わないでください。

➤ 提出期限 **毎年 6 月 30 日まで**

➤ 提出方法

(1)(2)のいずれかの方法により、提出先まで提出してください。

(1) E-mail 送信により電子ファイルで提出(7MB まで)

(2) 郵送により電子媒体(CD または DVD)で提出

※紙ベースでの提出は不要です。ただし、受付の証が必要な場合は、82 円切手を貼った返信用封筒と様式2-1(実績表紙)のみ紙ベースで送付ください。兵庫県水大気課の受付印を押印し、返送します。

【電子メール件名】“事業者番号”＋“社名略称”＋“実績年度”＋実績提出”

(例)「651〇〇H28 実績提出」

➤ 特定自動車が **30 台未満** となった場合

「ひょうごの環境」HP より「特定自動車減少届」(エクセルファイル)をダウンロードのうえ、ご提出ください。

なお、30 台未満となった年度の分までは実績報告が必要です。

➤ **計画内容を変更**する場合

「ひょうごの環境」HP より「変更届」(エクセルファイル)をダウンロードのうえ、ご提出ください。

(4) お問い合わせ・提出先

兵庫県 農政環境部 環境管理局 水大気課 大気班

【住 所】 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1

【電 話】 078-362-3287 (直通)

【メールアドレス】 mizutaiki@pref.hyogo.lg.jp

2 自動車使用管理計画の立て方について

《兵庫県の審査確認事項》

次の点に従って計画を立ててください。

① 様式1-2(計画排出量)

NO_x 排出量及びPM 排出量の目標値について、計画作成時点 過去1年間の排出量実績値以下※になるように設定してください。

※ 事業の拡大により車両台数や走行量の増加が見込まれるため排出量を下げることが計画難しいなどの場合には、③で使用車両について NO_x や PM の排出量が少ないエコカーや最新規制適合車へ積極的に代替を進めるよう計画してください。

② 様式1-3(計画措置)

排出量抑制の取組みについて、“適正運転の実施”※、“車両の維持管理”を必ず計画事項としてください。また、“公共交通機関の利用の促進”について取組み可能な事業者は、併せて計画事項としてください。

※エコドライブ

兵庫県ではアイドリングストップをはじめ、環境に配慮した運転方法、低公害車への乗り換えなど、環境にやさしい自動車利用の実践運動を「エコドライブ運動」と呼び、自動車を運転するすべての人に広める活動を展開しています。

詳細は「ひょうごの環境」HP「ホーム>大気>エコドライブのすすめ」

③ 様式1-4(計画代替)

特定自動車の代替について、計画作成時点の使用車両よりもNO_x 排出量及びPM 排出量がより少ない低公害な車両に転換を進めるよう計画してください。

※対象自動車から軽自動車へ代替する場合は、特定自動車の台数の削減となります。

3 作成の手順

(1) 「自動車使用管理計画・実績報告作成ソフト」の構成

本ソフトは下表のシートにより構成されており、一つのエクセルファイルで、自動車使用管理計画の作成と自動車使用管理実績報告の作成が可能です。

※本作成ソフトではシートの削除を行わないでください。



	シート名	内容
自動車使用 管理計画	様式1-1(計画表紙)	自動車使用管理計画書の表紙
	様式1-2(計画排出量)	特定自動車 NOx・PM 排出量
	様式1-3(計画措置)	適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画
	様式1-4(計画代替)	特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画
	様式1-5(計画事業場)	事業場別の特定自動車の台数
自動車使用 管理 実績報告	様式2-1(実績表紙)	自動車使用管理実績報告書の表紙
	様式2-2(実績排出量)	特定自動車 NOx・PM 排出量
	様式2-3(実績措置)	適正運転の実施等及び車両走行量の削減の実施状況
	様式2-4(実績代替)	特定自動車代替状況、排出ガス低減装置装着状況
	様式2-5(実績事業場)	事業場別の特定自動車の台数
参考シート	はじめに	自動車使用管理計画作成ファイルの簡単な説明書き
	排出係数	NOx・PM の排出量の算定に用いる排出係数一覧表
	産業分類表	業種番号の参照シート

(2) 自動車使用管理計画の記入方法

セルが水色の部分は、必須入力項目です。

【様式1-1(計画表紙)】

・特定事業者の「住所」「氏名」は、“本社”について記載してください。押印は不要です。

※官公署(国、地方公共団体)の場合

当該組織の所在地、名称、代表者の職(市長、企業管理者等)と氏名を記載してください。

・「兵庫県における主たる事業場の所在地」は、組織上の位置付け(神戸本社など)、自動車使用台数、従業員数などを勘案したうえで、一つの事業場を“主たる事業場”としてください。

・提出後に「担当者氏名及び連絡先」(氏名、メールアドレス)に変更があった場合は、必ず兵庫県へご連絡ください。

様式1-1 (計画表紙)

平成 年 月 日

兵庫県知事 様

住所

フリガナ 氏名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

自動車使用管理計画書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第33条に基づき、特定自動車の使用管理計画を次のとおり提出します。

特定事業者の氏名又は名称	0
兵庫県における主たる事業場の所在地	<input type="text" value="本社の住所を入力してください。県外の場合は都道府県名も入力してください。"/>
使用する特定自動車の台数	台 <input type="text" value="台数を入力してください。"/>
業 種 名	番号 <input type="text" value="業種番号を入力してください。"/>
事業の概要	<input type="text" value="事業の概要を入力してください。"/>
従 業 員 数	人 <input type="text" value="従業員数を入力してください。"/>
担当者氏名及び連絡先	所属・役職・氏名 <input type="text" value="所属・役職・氏名を入力してください。"/> 所属所在地 <input type="text" value="所属所在地を入力してください。"/> 電 話 <input type="text" value="電話番号を入力してください。"/> FAX <input type="text" value="FAX番号を入力してください。"/> Eメール <input type="text" value="Eメールを入力してください。"/>
整理番号 (※記入しないでください)	

様式1-5(計画事業場)から自動表示されます。

産業分類表シートを参照し、該当する業種番号を入力してください。

この計画書を作成した担当者について入力してください。

排出係数 産業分類表

【様式1-2(計画排出量)】

特定自動車について、車両毎の計画作成時点 過去 1 年間の実績^{*}と、NOx・PM排出量の平成 32 年度における目標値を記入してください。

※平成 27 年度実績を報告された特定事業者の場合は、平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)1 年間の実績について記入してください

下表で車両毎の必要項目をすべて入力すると、排出量(実績)が自動計算されます。

計画前年実績以下となるよう、様式 1-4(計画代替)のシート等を勘定して目標排出量を設定します。

1台ごとの排出量。必須入力項目で入力漏れや間違いがあれば「エラー」と表示されます。(9ページ ※2 参照)

枠内の項目は車検証の情報を参照してください。(次ページ ※1 参照)

13	車両毎の排出量																		
14	番号	事業場コード	ナンバープレート				初年度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	後付け装置		年間走行距離(km)	排出係数		排出量		廃止
15			使用の本拠	分類番号	文字	指定番号						NOx PM低減	PM低減		NOx	PM	NOx (kg)	PM (kg)	
16	1	神戸	300	さ	1001	(改造)	乗用車(軽乗用を除く)	TA	2,160	天然ガス(CNG)			8,634	0.030	0.000	0.3	0.0		
17	2	神戸	200	さ	1002	(改造)	大型バス	KK	10,800	天然ガス(CNG)			10,034	0.175	0.000	19.0	0.0		
18	3	神戸	300	さ	1003		乗用車(軽乗用を除く)	QBA	1,315	ガソリン			42,738	0.025	0.000	1.1	0.0		
19	4	神戸	400	ず	1004		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)			9,011	0.023	0.000	0.2	0.0		
20	5	神戸	400	ず	1005		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)			14,051	0.023	0.000	0.3	0.0		
21	6	神戸	400	ず	1006		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)			10,301	0.023	0.000	0.2	0.0		
22	7	神戸	400	ず	1007		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)			8,123	0.023	0.000	0.2	0.0		
23	8	神戸	400	ず	1008		小型貨物車	QBF	2,895	ガソリン			12,523	0.035	0.000	0.6	0.0		
24	8																		
※ 参考に 様式1-1(計画表紙) 様式1-2(計画排出量) 様式1-4																			

初年度登録年月、後付け装置の入力は任意です。

・矢印が表示される項目は、矢印をクリックすることでドロップダウンリストから入力項目を選択できます。

【事業場コード】

様式 1-5(計画事業場)シートの事業場コードから選択。
入力漏れがあると事業場シートの台数が自動計算されません。

番号	事業場コード	使用の本拠	分類番号
25	1		
26	2		
27	3		
28	4		
29	5		
30	6		
31	7		
32	8		

【後付け装置: NOx・PM 低減】

使用車種規制非適合の古い車に同時低減装置を後付けで装着して改造した車両で、車検証の備考欄に「使用車種規制 (NOx・PM) 適合。NOx・PM 法対応変更有り。脱着装置」のような記載があれば、ドロップダウンリストから「あり」を選んでください。装着していない場合は何も入力しません。

【廃止】

計画前年中に
・廃車したとき
・使用の本拠位置を兵庫県対策地域外へ移転したとき
→「廃止」を選択。

【年間走行距離】

・過去 1 年間の走行距離を入力してください。
・不明な場合 計画の提出時点で使用可能なデータをもとに推計してください。
・10 万 km 超過の場合には赤字で表示されますので入力間違いがないか再確認してください。

【自動車の種別】

バス : 大型バス(乗車定員 30 名以上)またはマイクロバスを選択
特種車 : 乗用系またはそれ以外を選択

※ 1 車検証の参照項目

事業場 コード	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	備考欄
	使用の本拠	分類番号	文字	指定番号						NOx・PM低減
1	神戸	300	さ	1001	(改造)	乗用車(軽乗用を除く)	TA	2,160	天然ガス(CNG)	
1	神戸	200	さ	1002	(改造)	大型バス	KK	10,800	天然ガス(CNG)	
1	神戸	300	さ	1003		乗用車(軽乗用を除く)	CBA	1,315	ガソリン	
2	神戸	400	す	1004		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	
2	神戸	400	す	1005		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	
2	神戸	400	す	1006		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	
2	神戸	400	す	1007		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	
2	神戸	400	す	1008		小型貨物車	QFE	1,665	天然ガス(CNG)	

ナンバープレート表記を使用の本拠、分類番号、文字、指定番号毎に全て入力してください。

初度登録年月を入力してください。

「ナンバープレート」の「分類番号」を入力するとドロップダウンリストに自動車の種別が表示されます。

「型式」の「ー」の前のアルファベットをドロップダウンリストから選択(型式が空欄の場合は「ー」を選択)してください。

車両総重量を入力してください。

燃料の種類をドロップダウンリストから選択してください。

備考欄に記載があれば「あり」を選択してください。

番号 00123

自動車検査証

自動車検査証番号(本拠番号) 5年 1月17日 平成 8年 9月 普通 貨物 自家用 キャブオーバー

神戸 100 さ 〇〇〇〇

型式 U-RR32G1 2[G] 1000[850]kg 1550kg 2715[2730]kg

原動機の型式 6HE1 長さ 602mm 幅 220mm 高さ 237mm 総排気量又は定格出力 7.12 軽油

所有者の氏名又は名称 株式会社 〇〇〇〇〇〇〇

所有者の住所 兵庫県神戸市中央区×××町 〇〇-1

使用者の氏名又は名称 ×××

使用者の住所 ×××

使用の本拠の位置 ×××

有効期間の満了する日 平成 18年 9月 14日

備考 使用車種規制(NOx・PM)適合 NOx・PM法対応変更有。

脱着装置

前前軸重 2240kg

前後軸重

後後軸重 1580kg

・型式

最初のアルファベット2～3文字(識別記号)を入力(ハイフン以下は不要)。

型式●●●ー△△・△△：自動車製作者等が決めた記号(●はアルファベット)

●●●：自動車排出ガス規制及び低排出ガス車認定の識別記号。

・燃料(ハイブリッドの場合)

識別記号(●はアルファベット)	燃料
●A●、●L●	ハイブリッド(ガソリン)
●C●、●J●、●M●、●N●、●Q●	ハイブリッド(軽油)

※2 エラーが表示される場合

番号	事業場コード	ナンバープレート			初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	後付け装置		年間走行距離(km)	排出係数		排出量		廃止
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号					NOx・PM低減	PM低減		NOx	PM	NOx(kg)	PM(kg)	
1	1	神戸	300	さ	1001	(改造)	乗用車(軽乗用車除く)	TA	2,160	天然ガス(CNG)		8,630	0.030	0.000	0.3	0.0	
2	1	神戸	200	さ	1002	(改造)	乗用車(軽乗用車除く)	KK	10,800	天然ガス(CNG)		10,036	0.175	0.000	エラー	エラー	
3	1	神戸	200	さ	1003		乗用車(軽乗用車除く)		1,315	ガソリン		42,735	エラー	エラー	エラー	エラー	
4	2	神戸	300	ず	1004		小型貨物車	OFF	1,665	天然ガス(CNG)		9,010	0.02	0.000	0.2	0.0	

- ・2行目エラー例では、「自動車の種別」が入力漏れ。
- ・3行目エラー例では、「ナンバープレート」が一部入力漏れ。

・排出係数、排出量がエラー、または空欄となる場合

ナンバー「分類番号」、「自動車の種別」、「型式」、「車両総重量(kg)」、「燃料種類」、「年間走行距離(kg)」の各項目が正しく入力されているか、チェックしてください。

・車両を改造(クレーンやタンクの取り付けによる重量の変更、燃料の変更など)している場合

車検証から正しく入力してもエラーが表示される場合があります。その際は兵庫県までご連絡ください。車両総重量について、改造前の総重量がわかる場合は、それを記載してください。

【様式1-3(計画措置)】

それぞれの項目について計画の有無を選択し、実施する計画項目に○をつけ、その他の取組みがあれば「その他」欄に記入します。

独自の取組みについてはシートの一番下にある「特記事項」に記入してください。

「あり」又は「なし」を選択。

「適正運転の実施」、「車両の維持管理」は必ず「あり」を選択してください。

実施する項目に「○」をしてください。

様式1-3 (計画措置)		適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画	
計画事項	計画の有無	計画項目	内 容
車両の有効利用の促進	あり	○	エコドライブマニュアルの作成、配布
		○	エコドライブに関する教育、訓練の実施
		○	エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の削減等)
		○	アイドリングストップの徹底
		○	デジタル式運行記録計等の活用
		○	優良ドライバーの表彰
		○	その他()
	あり	○	日常点検・整備
		○	エコドライブマニュアルの作成、配布
		○	日常点検・整備
		○	エコドライブに関する教育、訓練の実施
		○	日々
		○	エア
		○	運転
		○	その他
		○	物流
		○	配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減)
		○	その他()
		○	配送と集荷を1台で実施できるように工夫
		○	その他()
		○	時間指定配送の回数の低減を要請
		○	その他()
		○	受注時間と配送時間の設定(ルール化)

エコドライブの取組み、アイドリングストップの徹底は必ず「○」をしてください。

項目にない場合は、「その他」に入力してください。

モーダルシフトの推進		○	鉄道輸送の活用
		○	海運の活用
		○	その他()
公共交通機関の利用の促進	あり	○	鉄道、バス等の公共交通機関の利用
		○	自転車、徒歩による移動
		○	マイカー通勤の禁止
		○	カーシェアリングの活用
		○	その他()
情報化の推進	あり	○	車載
		○	燃費等の表示
		○	VICS搭載
		○	ETCの導入
		○	その他()
物流機能の高度化、物流拠点の整備等	あり	○	積荷の積み下ろし
		○	荷受け、仕分け
		○	荷受け場、駐車場所、運送用空室などの整備
		○	路上駐車等の自粛
		○	その他()
その他	あり	○	ISO14001の認証取得
		○	エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証取得
		○	グリーン経営認証の取得
		○	環境報告
		○	その他()
上記についての特記事項(独自の取組みについて記載してください)		その他、独自の取組みについてこちらに入力してください。	

【様式1-4(計画代替)】

平成 32 年度までの特定自動車の代替計画について記入します。

※対象自動車から軽自動車へ代替する場合は、台数の削減となります。

様式1-4(計画代替)		特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画														
		現状の台数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合 計								
平成 年 月 日現在	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	保有台数 (年度末)			
天然ガス											0	0	0			
ハイブリッド																
プラグインハイブリッド											0	0	0			
(ハガインブリッド除く)	新☆☆☆ (ポスト新長期、新長期)										0	0	0			
	新☆☆☆☆ (ポスト新長期、新長期)										0	0	0			
	他	14									0	0	14			
軽油 (ハイブリッド除く)	新長期										0	0	0			
	新☆ (新長期)										0	0	0			
	ポスト新長期										0	0	0			
	他	1											1			
電気													0			
メタノール											0	0	0			
燃料電池											0	0	0			
合 計	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15			
うち低公害車の合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
うち排出ガス低減装置装着車の合計	0										0	0	0			

平成 27 年度実績を報告した特定事業者の場合は、平成 28 年 3 月 31 日現在と入力してください

NOx、PM の排出量が より少ない車両への転換を進めてください。

計画排出量シートより、自動計算されます。

マイナスの値が表示されている場合はエラーの可能性があります。減少台数と新規使用台数を確認してください。

(参考)ガソリン、軽油の燃料区分について

排出係数による燃料区分		説 明
ガソリン・LPG (ハイブリッド除く)	新☆☆☆ (ポスト新長期、新長期)	平成 17,21 年基準排出ガス 50%低減レベルのもの (識別記号:CB●、M●●など※)
	新☆☆☆☆ (ポスト新長期、新長期)	平成 17,21 年基準排出ガス 75%低減レベルのもの (識別記号:DB●、R●●など※)
	他	その他のガソリン・LPG 車
軽油(ハイブリッド除く)	新長期	平成 17 年規制適合車で、「新☆」と「ポスト新長期」以外のもの(識別記号:アルファベット 3 文字※※)
	新☆ (新長期)	平成 17 年基準排出ガス NOx & PM10%低減、NOx 10%低減、PM10%低減レベルのもの (識別記号:BD●、BK●、ND●、NK●、PD●、PK●など※※)
	ポスト新長期	平成 21,22 年規制適合車 (識別記号:LD●、QD●、S●●、T●●など※※)
	他	その他のディーゼル車 (識別記号:アルファベット 2 文字)

※ 識別記号●A●、●L● → 燃料区分:ハイブリッド(ガソリン)

※※識別記号●C●、●J●、●M●、●N●、●Q● → 燃料区分:ハイブリッド(軽油)

ガソリン車なら 他 <新☆☆☆ (ポスト新長期、新長期) <新☆☆☆☆ (ポスト新長期、新長期)

ディーゼル車なら 他 <新長期 <新☆ (新長期) <ポスト新長期

の順で強化された排ガス規制に適合した車両となります。

【様式1-5(計画事業場)】

特定自動車を使用する事業場について記載してください。

事業場数が多い場合は、車両を管理する事業場単位でも構いません。

※平成27年度実績を報告された特定事業者の場合は、平成27年度末(平成28年3月31日)時点の状況を記載してください。

※台数は、様式1-2(計画排出量)シートから自動計算されます。

様式1-5(計画事業場)											
事業場別の特定自動車の台数											
平成 年 月 日現在											
事業場コード	事業場の名称	事業場の所在地	事業場の連絡先	従業員数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種類	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数
普通自動車	2	2									
軽自動車											
小型乗用自動車											
小型貨物自動車	3	3									
大型バス	2	2									
マイクローバス	2	2									
特種自動車	4	4									
専用自動車	5	5									
合計	18	18									

従業員数を入力すると、合計が様式1-1(計画表紙)シートの従業員数に反映されます。

様式1-2(計画排出量)シートから計画前年度末時点の台数が自動集計されます。

(3) 自動車使用管理実績報告の記入方法

セルが水色の部分は、必須入力項目です。

【様式2-1(実績表紙)】

・特定事業者の「住所」「氏名」は、“本社”について記載してください。押印は不要です。

※官公署(国、地方公共団体)の場合

当該組織の所在地、名称、代表者の職(市長、企業管理者等)と氏名を記載してください。

・「兵庫県における主たる事業場の所在地」は、組織上の位置付け(神戸本社など)、自動車使用台数、従業員数などを勘案したうえで、一つの事業場を“主たる事業場”としてください。

・提出後に「担当者氏名及び連絡先」(氏名、メールアドレス)に変更があった場合は、必ず兵庫県へご連絡ください。

様式2-1(実績表紙)

平成 年 月 日 提出日を記載してください

兵庫県知事 様

住所
フリガナ
氏名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

自動車使用管理実績報告書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第34条に基づき、特定自動車の使用管理計画の実績を次のとおり報告します。

特定事業者の氏名又は名称

兵庫県における主たる事業場の所在地

使用する特定自動車の台数

業種名 番号

事業の概要

従業員数

担当者氏名及び連絡先

所属・役職・氏名
所属所在地
電話
FAX
Eメール

整理番号(※記入しないでください)

産業分類表

【様式2-2(実績排出量)】

実績年度1年間(平成28年度実績であれば平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)における特定自動車の車両毎の使用状況を入力してください。

まず **実績年度** を必ず
選択してください。

様式1-2(計画排出量)の目標値が自動
表示されます。
※計画作成時に設定した目標値を変更
する場合は、「変更届」をご提出ください。

様式2-2(実績排出量)	特定自動車NOx・PM排出量	事業所合計	1台当たり平均	走行距離(1km) 当たり平均
平成28年度	実績	305.0	21.8	1.4
NOx排出量(kg)	目標			
	達成率(%)			
PM排出量(kg)	実績	20.2	1.4	0.1
	目標			
	達成率(%)			

枠内の項目は車検証の情報を参照してください。
(8ページ 様式1-2 ※1参照)

実績年度1年間の走行距離を入力
・不明な場合 提出時点で使用可能な
データをもとに推計してください。
・0kmでも報告が必要です。
・10万km超過の場合には赤字で表
示されますので入力間違いがないか
再確認してください。

13	車両年別の排出量														
14	事業場 コード	ナンバープレート			初年度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量 (kg)	燃料種類	後付け装置		年間走行 距離 (km)	排出係数	排出量	新規 or 廃止
15	番号	使用の 本拠	分類 番号	指定 番号						NOx・PM低 減	PM低減		NOx (kg)	PM (kg)	
16	1	2	300	6793		乗用車(軽乗用車除く)	5H	1,145	ガソリン			15,658	0.000	0.00	
17	2	2	800	9232		特種車(それ以外)		5,845	軽油			26,848	0.350	54.9	3.6
18	3	2	800	1579		特種車(それ以外)		7,620	軽油	あり		10,947	0.350	29.2	1.9
19	4	3	400	7899		小型貨物車	2-471001	1,730	ガソリン			15,615	0.400	6.2	廃止
20	5	3	800	2900		特種車(それ以外)	2-471002	2,665	軽油			16,399	0.700	11.5	廃止
21	6	3	800	71		特種車(それ以外)	2-471003	7,960	軽油			15,209	0.350	42.4	2.6
22	7	3	800	9146		特種車(それ以外)	2-471004	4,185	軽油			4,787	0.350	7.0	0.5
23	8	3	300	8631		乗用車(軽乗用車除く)	2-471005	1,355	ガソリン			15,615	0.020	0.00	0.0

初度登録年月、後付け装置
の記入は任意です。

エラーが表示される場合
→ 9ページ※2 参照

様式2-5(実績事業場)シートの
事業場コードを選択。
記入漏れがあると、事業場シートの台数が自
動で計算されません。

使用車種規制非適合の古い車に同時低
減装置を後付けで装着して改造した車両
で、車検証の備考欄に「使用車種規制
(NOx・PM) 適合。NOx・PM 法対応変更有
り。脱着装置」のような記載があれば「あ
り」を選んでください。装着していない場合
は何も入力しません。

・「自動車の種別」は「ナンバープレート」の「分類
番号」を入力するとドロップダウンリストに表示
されます。

事業場 コード	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)
	使用の本拠	分類番号	文字	指定番号				
1	神戸	300	2	1001	(改造)	乗用車(軽乗用車を除く)	TA	2
1	神戸	200	2	1002	(改造)	大型バス	KK	10
1	神戸	300	2	1003		乗用車(軽乗用車を除く)	CBA	1
2	神戸	400	2	1004		小型貨物車	QFE	1
2	神戸	400	2	1005		小型貨物車	QFE	1
2	神戸	400	2	1006		小型貨物車	QFE	1
2	神戸	400	2	1007		小型貨物車	QFE	1

・バス : 大型バス(乗車定員 30 名以上)または
マイクロバスを選択
・特種車: 乗用系またはそれ以外を選択

実績年度に以下の場合、
「新規」「廃止」「新規廃止」を選択してください。

「新規」

- ・新車又は中古車を新規導入したとき。
- ・使用の本拠の位置を移転して特定自動車とな
ったとき(兵庫県対策地域内へ移転したとき)

「廃止」

- ・廃車したとき。
- ・使用の本拠の位置を移転して特定自動車では
なくなったとき(兵庫県対策地域外へ移転したとき)

「新規廃止」

- ・実績年度内に新規導入した自動車を、同一年
度内で廃止または移転したとき。

【様式2-3(実績措置)】

実績年度に実施した項目に○をつけ、その他の取組みがあれば「その他」欄に記入します。

独自の取組みについてはシートの一冊下にある「特記事項」に記入してください。

様式 1-3(計画措置)シート
の値が自動表示されます。

実施した項目に「○」をしてください。

様式2-3(実績措置) 適正運転の実施等及び車両走行量の削減の実施状況

計画事項	計画の有無	実施項目	内 容
適正運転の実施	あり	○	エコドライブマニュアルの作成、配布
		○	エコドライブに関する教育、訓練の実施
		○	エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の徹底)
		○	アイドリングストップの徹底
			デジタル式運行記録計等の活用
			優良ドライバーの表彰
			その他()
車両の維持管理	あり	○	日常点検・整備マニュアルの作成、配布
		○	日常点検・整備に関する教育の実施
		○	日々の始業エアークリーニングの実施
		○	運転日報の作成
			その他()
共同輸配送の促進			物資の集荷、仕分け業務の共同化(積載効率、輸送効率の向上)
			配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減)
			その他()
帰り荷の確保			配送と集荷を1台で実施できるように工夫
			その他()

エコドライブの取組み、アイドリングストップの徹底は実施してください。

項目にない場合は、「その他」に入力してください。

物流施設の高度化、物流拠点の整備等	あり	○	荷捌き場、駐停車場所、運転手控室などの整備
		○	路上駐停車の自粛
			その他()
その他	あり		ISO14001の認証を取得
			エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証を取得
			グリーン経営認証の取得
			環境報告書
		○	その他()

その他、独自の取組みについてこちらに入力してください。

上記についての特記事項(独自の取組について記載してください)

【様式2-4(実績代替)】

シート右にある“貼り付け用”表の紫色セル部分には、実績排出量シートからの自動計算により、実績年度における「減少台数」「新規使用台数」が表示されています。この紫色セル部分をコピーして、該当する実績年度の紫色部分に【値の貼り付け】をしてください。

※ 過去年度の紫色部分の実績値は、削除しないでください。

(実績年度の合計台数) = (前年度の合計台数) - (実績年度の減少台数) + (実績年度の新規使用台数)

※ 実績年度の“合計”にマイナスの値が表示されている場合はエラーの可能性があり
減少台数と新規使用台数を確認してください。

※ “合計列の保有台数の合計”の数字(★)が、様式 2-1(実績表紙)シートの“使用する特定自動車の台数”の数字と一致することを確認してください。一致しない場合は、様式 2-2(実績排出量)シート(事業場コード)や過去年度の紫色部分が正しく入力されているか確認してください。

様式2-4(実績代替)		特定自動車代替状況、排出ガス低減装置装着状況																		貼り付け用	
	計画作成時の台数	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度			平成32年度			合 計		保有台数 (年度末)	減少台数	新規使用台数
		平成 年	月	日	減少 台数	新規使 用台数	合計	減少 台数	新規使 用台数	合計	減少 台数	新規使 用台数	合計	減少 台数	新規使 用台数	合計	減少 台数	新規使 用台数			
天然ガス																					
ハイブリッド																					
プラグインハイブリッド																					
(ガソリン・新長期、新長期)	新☆☆☆☆																				
	(ボス・新長期、新長期)																				
(ガソリン・新長期、新長期)	新☆☆☆☆																				
	(ボス・新長期、新長期)																				
他																					
軽油	新長期																				
(ハイブリッド・新長期)	新☆																				
	(ボス・新長期)																				
他																					
電気																					
メタノール																					
燃料電池																					
合 計																			★		
うち低公害車の合計																					
うち排出ガス低減装置装着車の合計																					

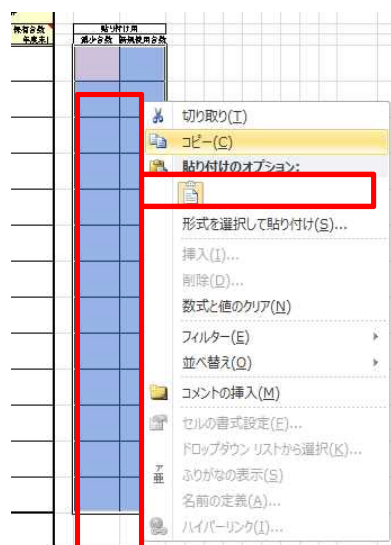
実績年度の紫色の部分は、右側「貼り付け用」のセルをコピーして、「値のみ」を張り付けてください。
(次ページ ※参照)

合計に赤字でマイナスの値が表示されている場合は、
減少台数と新規使用台数を確認してください。

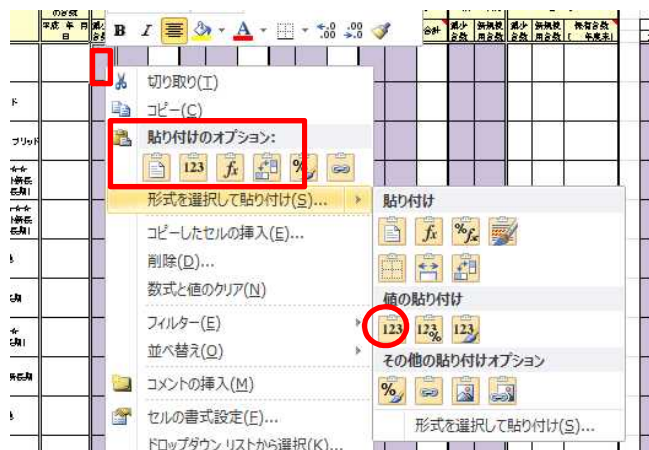
貼り付け後に、様式 2-1(実績表紙)の
台数と合うことを確認してください。

※「値のみ」を張り付ける方法

- ① 必要な紫色セル部分を範囲選択し、コピーします。



- ② 貼り付ける場所(実績年度)の一番左上にあたるセルを、右クリックし、「貼り付けのオプション:」から **123** 「値(V)」、または「形式を選択し貼り付け(S)」をクリックし、サブメニューから **123** 「値(V)」を選択します。



- ③ これで、値のみが貼り付けされます。

【様式2-5(実績事業場)】

実績年度 1 年間に特定自動車を使用した事業場について、実績年度末時点の状況を記載してください。

事業場数が多い場合は、車両を管理する事業場単位でも構いません。

※車種別の台数が、様式 2-2(実績排出量)シートから自動集計されます。

(例)平成 28 年度実績を 29 年度に報告する場合
「平成 29 年 3 月 31 日現在」

様式2-5 (実績事業場)		事業場別の特定自動車の台数									
		平成 年 月 日 現在									
事業場コード	事業場の名称	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事業場の所在地											
事業場の連絡先											
従業員数											
車種別	合計	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数
普通貨物自動車	1.7t以下	2	2								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
小型貨物自動車	1.7t以下	4	4								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
大型バス	1.7t以下	2	2								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
マイクロバス	1.7t以下	2	2								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
特種自動車	1.7t以下	4	4								
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
	3.5t超										
乗用自動車	合計	6	6								
合 計	20	20									

従業員数を入力すると、合計が様式 2-1(実績表紙)シートの従業員数に反映されます。

様式 2-2(実績排出量)シートから自動集計されます。